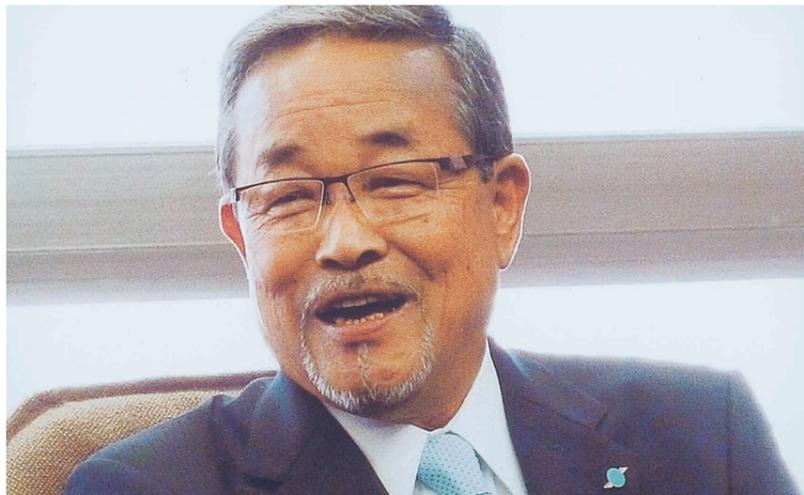


頭巻 特集 組合紹介

広島トラック事業協同組合

“運送業界の経営課題 克服に向けて”

理事長
西尾 保幸 氏



組合の概要と歴史、 成り立ち

当組合は、昭和34年に広島小型トラック事業協同組合として組合員32名で設立し、昭和38年に現在の広島トラック事業協同組合へ名称変更しました。

当時、物資を運ぶのは中・小型トラックが中心でしたが、経済が発展するとともに貨物量が増え、トラックの大型化が求められるようになりました。組合では、資金力の弱い組合員に対し、大型トラックの購入資金を転貸事業により低利で融資し、組合員

企業の近代化を支援しました。その他にも、夏季・冬季の賞与時の短期運転資金など、転貸事業は組合員の安定した資金調達に貢献してきました。

昭和43年に広島では初めての共同車庫・共同宿舍を出島に建設、昭和44年には共同給油施設(インタンク)を設置し、燃料の安定供給を担ってきました。特に第一次オイル



ショックの時は燃料が極端に不足しましたが、運送業者にも燃料確保の割当があったことから、共同給油施設の軽油利用で難をしのぐことができました。現在は、(株)ENEOSサンエナジーの特約店として、安定価格で組合員への提供を継続しています。

また、昭和47年には官公庁からの運送業務の共同受注により官公需適格組合を取得、昭和57年には高速道路通行料金別納制度(大型多頻度割引)の事業も始め、組合員サービスを充実させて来ています。

組合員の経営を効率化する 共同事業の実施

日本経済の長期低迷期には、運送コストの削減が強く要請され、空荷を減らすなどの効率性を重視したトラック運行が求められていました。その解決方法として、20年程前に日本貨物運送協同組合連合会が運営する求荷・求車情報ネットワーク「WebKIT」の利用を始めました。「WebKIT」は、決裁や信用保証を協同組合同士で行うため、組合員である個々の運送業者の利用が可能となり、インターネット上で求荷や求車の情報を登録し、自分のニーズとマッチ

する情報を検索、条件の合う相手と契約することができるようになりました。「WebKIT」の利用により、目的地で荷を下ろした後の帰便の積荷確保や、自社の車両が足りない場合の融通配車、積載量に余裕がある場合の積合せ輸送など、運送業務の効率化が大きく進展しました。

組合としても、組合加入のメリットが活かされ、組合員の売上と利益率の向上に役立ったと感じています。

組合員の成長と 後継者の育成

58年組合が続いてきましたが、その間、組合員の廃業や脱退などがあり、現在は組合員数15社まで減少しました。ゼロ金利政策に代表される低金利や、石油元売り業者の統合など、社会・経済環境の変化により、当初の組合事業の重要度は低下していることは否めません。しかし、運送業界が抱える課題を克服していくためには、組合を組織する今日的意義を今一度思い起こし、さらに団結を強化して行く必要があります。

また、今後の組合運営や組合事業の活性化のためには、組合員の後継者育成が不可欠な課題となってい



ます。当組合では、組合の将来を担う組合員後継者による青年部を組織し、中国5県の青年部による交流や、全国青年部組織の会合へ積極的に参加させています。次世代後継者が全国にヒューマンネットワークを持つことが、多様な情報を収集するのに役立つのみならず、「WebKIT」を利用する上でも全国的な信頼関係の強化につながり、運送業者仲間にとって非常に重要な財産となっています。

運送業界の課題克服に 向けた取組み

運送業界の今日的課題として、ドライバーの長時間労働問題や、若年者から敬遠されることによる深刻なドライバー不足が挙げられます。その背景には、長時間運転に起因する重大な交通事故の発生や、報酬面や福利厚生面が他業界に比べて充実していないことなど、厳しい労働環境があります。

そういった課題を克服していくため、国土交通省は昨年11月に、「標準貨物自動車運送約款」(トラック事業者と荷主の契約書のひな形)を改正し、運送業界に大きな影響を与えました。この約款では、運送の対価としての「運賃」と、運送以外の積みみや取卸し

などの役務や荷主都合による荷待ち時間の対価としての「料金」を区別し、また、荷物の梱入れやラベル貼りなどを「付帯業務」として明確化しました。

この改正により、適正な運賃・料金を得る仕組みが整備されましたが、発言力・影響力の強い大手業者と比べ、当組合の運送業者の交渉力は決して強くありません。組合員各社が取引先に対し適正な運送契約を要望・交渉するには、改正された「標準貨物自動車運送約款」及び運輸支局に変更を届け出た運賃・料金表を営業所へ掲示するなど、新標準約款の内容をきちんと理解する必要があります。そのために、改正内容に関する勉強会の開催や、運賃料金表の作成などを組合が支援し、交渉力の強化などの改革につなげていきたいと考えています。

当組合は、60年近く続く全国的にも歴史の古い組合として、運送業界を支える気持ちを忘れず、長年培ってきた全国のヒューマンネットワークを活かしながら、課題克服に向けて今後も積極的に取組んでいきたいと思

広島トラック事業協同組合

広島市南区出島2-21-59
TEL : 082-253-6121
FAX : 082-253-6125

